

ご長寿おめでとうございます



鈴木すわさん(養老)が100歳の誕生日を迎えられ、4月15日(金)に長寿のお祝い状とお祝い金が贈呈されました。

鈴木さんは読書が好きで、新聞を毎日隅々まで読んでいるそうです。好き嫌いなくなんでも食べることが長寿の秘訣とのことで、100歳を迎えた今でも家族の介助も必要なく元気で過ごしています。

養老町から3人の全国大会初代チャンピオン誕生



4月26日(火)に国立代々木競技場第一体育館で3月12日(土)・13日(日)に開催された「第1回全日本青少年フルコンタクト空手道選手権大会」において優勝した岩永勝亮選手(高校生男子軽量級)、岩永唯伽選手(中学2・3年生女子軽量級)、松田流誠選手(中学2・3年生男子軽中量級)の3人が、その報告のために大橋孝町長を訪問しました。

優勝した3人は「今回が第1回大会ということもあり、どうしても初代チャンピオンになりたかった。今は勝ってほっとしている」や「強い選手ばかりで緊張したが、とても楽しく試合に臨むことができた」と話し、優勝にかける強い思いや試合に臨む前のプレッシャーが伝わってきました。

教育と郷土の歴史調査へ尽力



4月26日(火)に瑞宝双光章を受章した大岡明臣さん(橋爪)へ伝達式が行われました。

大岡さんは昭和29年度から平成5年度まで教職員として勤務し、昭和61年度から平成5年度には小学校3校で校長を務めるなど、子ども達の教育へ身を捧げました。また、退職後には象鼻山夢おこし協議会副会長として郷土の歴史調査のために尽力したことなど、これまでの功績が認められ、受章することとなりました。